

[1] <b>インカムゲイン</b>	株式や債券などの資産を保有中に得られる収益のこと。
[2] <b>株主資本コスト</b>	株主から出資を受けて調達した資金に対するコストのこと。投資家の観点からは、投資家が要求する最低限の収益率と定義することもできる。
[3] <b>キャピタルゲイン</b>	保有する資産を売却することで得られる収益のこと。
[4] <b>サクセッション</b>	重要なポジションの後継者を見極め、育成すること。
[5] <b>シャープレシオ</b>	リスクに対する超過収益(リスクがゼロでも得られるリターンを上回った収益)を測る指標。
[6] <b>データドリブン</b>	収集したデータを分析し、その結果に基づいて意思決定するビジネスプロセス。
[7] <b>トレイナーレシオ</b>	ポートフォリオにあるリスクに対する超過収益(リスクがゼロでも得られるリターンを上回った収益)を測る指標。
[8] <b>バリュートツリー</b>	上位の目標(価値)を関連性の強い下位の目標にブレークダウンしていくツリーのこと。
[9] <b>ボラティリティ</b>	一般的に価格変動の度合いを示す言葉。資本コストの代表的な計算方法であるWACC(Weighted Average Cost of Capital)では、株主資本コストは、リスクフリーレートと、リスクプレミアム(株式益回りのリスクプレミアム超過分)に $\beta$ (TOPIXが1変動する時に個別株がどれだけ変動するかを示す数値:株式のボラティリティ)を乗じたものとの和で計算される。
[10] <b>リスクフリーレート</b>	リスクが最小でリスクフリーに近い金融商品から得られる利回りのこと。
[11] <b>労働における基本的原則および権利に関するILO宣言</b>	社会進歩と経済成長が手を携えて進むことを確保する国内的努力を促進しようとの意欲と、個々の国を取り巻く環境、可能性、優先事項の多様性を認める必要を調和させることを目的とする宣言。
[12] <b>BPO</b>	Business Process Outsourcingの略。企業運営上の業務やビジネスプロセスを専門企業に外部委託すること。
[13] <b>CAGR</b>	Compound Annual Growth Rateの略。年平均成長率のこと。指定した期間にわたる成長率から1年当たりの成長率として算出した幾何平均を指す。
[14] <b>CPM</b>	Corporate Performance Managementの略。企業経営で今何が起きているのかを可視化し、さまざまな問題点に対して迅速に対処するための概念でありソリューション。
[15] <b>CSF</b>	Critical Success Factorの略。重要成功要因のこと。成果に直結させるために重要な指標。
[16] <b>DOE</b>	Dividend On Equity ratioの略。株主資本配当率とも呼ばれ、株主資本に対して企業がどの程度の利益配分を行っているかを示す財務指標。年間配当総額÷株主資本×100の計算式で算出される。
[17] <b>DX</b>	Digital Transformationの略。Transformationは「変容」という意味で、DXを直訳すると「デジタルによる変容」になる。デジタル技術を用いることで、生活やビジネスが変容していくこと。

[18] <b>EBITDA</b>	Earnings Before Interest Taxes Depreciation and Amortizationの略。税引前利益に支払利息、減価償却費を加えて算出される利益を指す。
[19] <b>EPS</b>	Earnings Per Shareの略。1株当たり純利益を指す。
[20] <b>ESG</b>	環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の頭文字を取ってつくられた言葉。気候変動問題や人権問題などの世界的な社会課題が顕在化している中、企業が長期的成長を目指すうえで重視すべきESGの観点での配慮ができていない企業は、投資家などから企業価値毀損のリスクを抱えていると見なされる。
[21] <b>IRR</b>	Internal Rate of Returnの略。内部収益率。時間経過を考慮し計算する利回りのこと。
[22] <b>PER</b>	Price Earnings Ratioの略。1株当たり純利益の何倍の株価が付けられているかを見る指標。
[23] <b>ROE</b>	Return On Equityの略。自己資本利益率を意味し、企業の自己資本(株主資本)に対する当期純利益の割合を指す。ROE(%)=当期純利益÷自己資本×100、またはROE(%)=EPS(1株当たり純利益)÷BPS(1株当たり純資産)×100の計算式で算出される。投資家が投下した資本に対し、企業がどれだけ利益を上げているかを表す重要な財務指標で、ROEの数値が高いほど経営効率が良いと言える。
[24] <b>SaaS</b>	Software as a Serviceの略。「ソース」または「サーズ」と呼ぶ。ベンダーが提供するクラウドサーバーにあるソフトウェアを、インターネット経由でユーザーが利用できるサービス。
[25] <b>Scope</b>	Scopeは温室効果ガス排出量算定・報告の国際基準である「GHGプロトコル」にて定義された概念で、温室効果ガスの排出量を測定する範囲のことを指し、Scope 1〜3に分類されている。Scope 1は企業等の事業活動における燃料の使用や工業プロセスによる直接的な排出、Scope 2は他社から供給された電気や熱、蒸気の使用に伴う間接排出、Scope 3はScope 1、2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)を指す。
[26] <b>SI</b>	System Integrationの略。さまざまなシステムを組み合わせて正しく機能するように完成させること。システムインテグレーター(Sier)はお客様に対してIT戦略の立案から設計、開発、運用・保守・管理までを請け負うITサービス会社を指す。
[27] <b>TCFD</b>	Task Force on Climate-related Financial Disclosures(気候関連財務情報開示タスクフォース)の略。G20の要請を受け、金融安定理事会(FSB)により、気候変動がもたらすリスクおよび機会の財務的影響を把握し、開示することを目的に設立され、2017年6月に最終報告書が公表された。TCFDは企業等に対し、気候変動関連リスクおよび機会に関する「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」の4項目について開示することを推奨している。
[28] <b>TSR</b>	Total Shareholder Return(株主総利回り)の略。キャピタルゲインと配当を合わせた、株主にとっての総合投資利回りのこと。
[29] <b><math>\beta</math></b>	株式市場全体が動いた時に特定の銘柄がどの程度連動して動くかを示す指標。